

まつりばやし
上大井祭囃子



上大井祭囃子 町指定重要文化財
昭和52年5月4日指定

- ※「夜宮」とは祭日の前夜に行う前夜祭のことで宵宮と同じ意味。
- ※「小田原囃子」は葛西囃子の流れをくみ、音曲は変化に富み、他の祭囃子に比べてゆったりとしていて華やか。
- ※「葛西囃子」とは葛西地方に起こり、今も広く東京地方で行われる祭礼の囃子。

かみおいまつりばやし
上大井祭囃子は、上大井三嶋神社の祭礼(4月初旬)時に演奏されています。祭礼では、花車に乗って行われ、前夜祭(夜宮)では神社境内の特設ステージで演奏されます。演奏する曲目は道囃子(キザミ入り)と、「昇殿」、「神田丸」、「鎌倉」、「四丁目」の段物があります。花車が巡行している時には、道囃子を演奏しますが、道囃子には「オヒヤリコ」・「トヒヒヤラ」などの異なる調子があります。

この祭囃子は、明治初期に小田原囃子から伝承されたもので、葛西囃子の系統の祭囃子です。昭和51年、上大井祭囃子保存会が発足し、翌年町の重要文化財に指定されました。

金手祭ばやし



金手祭ばやし 町指定重要文化財
平成3年7月18日指定

金手祭ばやしも、上大井祭囃子同様、明治初期に小田原囃子から伝承された葛西囃子です。この祭ばやしは、金手地域の氏神である三嶋神社の祭典(7月中旬)に行われます。2基の山車が巡行し、祭ばやしは山車の上に乗って演奏されます。

演奏する曲目は囃子(キザミ入り)と、「四方デン」、「神田丸」、「鎌倉」、「四丁目」の段物があります。

昭和57年に金手祭ばやし保存会が発足し、平成3年に、町の重要文化財に指定されました。